



心も体も元気な岡村っ子

おもいやりをもち、
かがやく自分を求めて、
むちゅうになって共に学び
みらいを創っていく子



横浜市立岡村小学校・学校だより

R6.12.25

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/>



新春万福

校長 川村 真弘



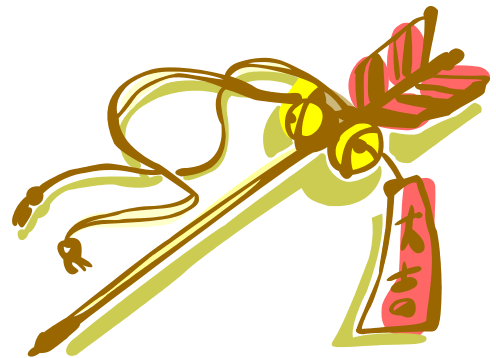
元号「令和」も7年目。その語源となった万葉集『初春の令月にして、気淑く風和ぐ。梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す』と梅を鑑賞する宴で華やかに詠まれた短歌に令和の新春の慶びが重なる。

我が町でもやがて気品高く優美に梅が咲く。その秀逸、岡村梅林丘上から望む、末広がりに展望する街並みと雪化粧奇麗な霊峰富士に感激して、今年も素敵な一年であるようにと思う。神々しい富士に、今年も「心も体も元気な岡村っ子」に育ってほしい

と願い、子ども達の幸せを何よりも一番に祈る。

私の子ども時代の正月遊びは、故郷の風習で百人一首が祖父の家での定番。北海道の百人一首は下の句だけ詠むかるたで、しかも札は木製である。そのかるた、本校6年生の1クラスが総合的な学習の時間で修学旅行先の片品村で遊んだ「上毛かるた：岡村版」を制作し、もう1クラスは磯子区の名物、ランドマークを探索中。

かるた遊びや街の探索に夢中になって興じ学ぶこともまさに子どもの真骨頂。子ども達が笑門来福にして過ごす正月の風情のように穏やかに笑顔で1年を過ごせますように全ての皆様の弥栄を祈念いたします。



1月10日は学校の誕生日。62歳誕生日を子どもたちとお祝いします。校長室に掲げられている「開校宣言」には昭和38年1月10日、当地域の発展に即応し、磯子区岡村町687番地に横浜市立岡村小学校を開設すると記されています。令和7年1月10日本校は62歳を迎えます。地域の皆様に支えられ、歴史を重ね、伝統を築いて参りました。今後とも地域に威風堂々、凜と建てる学校であるよう精進して参ります。

横浜市立岡村小学校教職員一同

